

角淵由英氏が開発した「生成 AI 特許分析 GPTs」について

Claude Sonnet 4

角淵由英氏が開発した「生成 AI 特許分析 GPTs」は、簡単な入力から WEB 情報と特許情報を段階的に調査・分析するエージェント型 GPT です。このツールの主な特徴と機能は以下の通りです。

主な機能

3 段階の分析プロセス:

1. Part 1/3: 技術に関する一次調査レポート
 - 技術概要と構造整理
 - Web 情報を活用した基本的な技術分析
2. Part 2/3: 特許情報の分析レポート
 - 関連特許の概要と出願動向
 - 主要出願人と競争状況の分析
 - 特許の質と影響力の評価
3. Part 3/3: ビジネス実装・製品化・規制・資金調達の詳細調査
 - 商用導入事例と製品化状況
 - 規制・標準化動向
 - Web 情報と特許情報の整合性検証

使用方法

分析して欲しい技術の内容を入力するだけで OK です。各段階で「OK」と入力するだけで次のステップに進むことができ、最終的には Deep Research 用の詳細なプロンプトが生成されます。

Deep Research 機能

最終段階では、ChatGPT や Gemini で使用可能な高度な調査用プロンプトが出力され、これを使用することで:

- 500 以上の特許ファミリーの分析
- 50 以上のビジネス情報源の調査

- 包括的な特許・ビジネス インテリジェンスレポートの生成

実用例

検索結果では、RFID セルフレジシステムの分析例が示されており、13分30秒で149件の検索を行い、技術概要から競合分析、市場動向まで網羅した詳細なレポートが生成されています。

このツールは、特許調査の専門知識がなくても、高度な特許・技術分析を効率的に実行できる画期的な AI ツールといえます。